

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和４年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

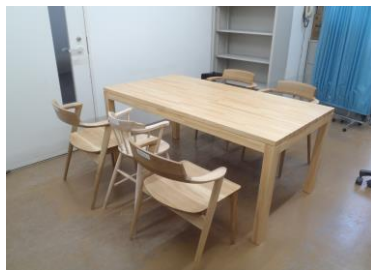
□ 事業内容

国産木材を活用した来庁者用備品等整備事業

子育て層等幅広い層が多く訪れる保健福祉センター内で、国産木材を活用した備品等を配置し、木の良さを実感してもらい自然や環境への興味・関心を高めることで、木材利用を推進するとともに来庁者への木材の魅力を発信することにつなげ、木材の需要拡大を図った。

【事業費】883千円（うち譲与税883千円）

【実績】玩具（木馬ほか７点）
家具（絵本棚ほか４点）



□ 事業スキーム

国産木材家具（一般競争入札）
国産木材玩具（随意契約比較見積）

□ 工夫・留意した点

相談に来られたお子様連れの方に木の温かみや香りを感じてもらえるよう相談スペースやキッズスペースに設置した。

また、小さなお子様が安全に使用できるよう防腐剤や接着剤、塗料に配慮し、丸みのある家具や玩具を選定した。

□ 基礎データ

①令和４年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※１）：0.00ha	
③林野率（※１）：0.00％	④人口（※２）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※２）：157人	

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より